

千年の森便り No.256

2025.5.30

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 福島成樹

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

5月18日(日) 天候 曇り

5月の活動日は例年どおり公開行事として初夏の清和県民の森と豊英島を楽しむハイキングを行いました。事前に案内を配布し参加者の募集を行いました。天気予報がずっと雨だったためか応募は少なく、一般の参加者が2名、スタッフの会員が6名という小規模の公開行事となりました。

当日の天気は、昼食時に小雨になっただけで、曇り空の下でのハイキングとなりました。ハイキングの案内役の坂本さん、別動隊で駐車場の草刈りをしていた菊米さん、ありがとうございました。

また、今回は地元で作っているお弁当を坂本さんにご紹介いただきました。別のパックで付いていたフキの煮物がとても美味しく、個人的には大ヒット！でした。ご馳走さまでした。

参加者は、秋元、片野、菊米、坂本、清水、福島の会員6名と、一般の参加者2名の計8名でした。

次回は6月15日(日)、二ホンジカ生息状況調査、環境整備(水辺)、危険木伐採等を行う予定です。ご参加をよろしくお願いいたします。(福島)



ハイキングの途中で記念写真

〇清和県民の森ハイキングの案内と懐かしい田舎弁当

5月恒例のハイキングで案内を担当しました。一緒に歩いたのは男性ばかり5人の少人数でしたからマイクの必要もありませんでした。ルート上には〇〇ウツギの名を持つものが何種類かあるのですが、科のレベルでは別の植物なので、分かり易い様に一覧できる資料を用意しました。多少は役に立っただけでしょうか。枯れたウツギの枝を折って中空になっているのを確認してもらいましたから、空木の名前の由来が納得できたと思います。

ジャケツイバラやオオバウマノスズクサは、いつもの場所で花が見られました。昔の観察会では植物名などをメモ書きしていたものですが、今はメモ代わりにスマホで撮影するのが当たり前前の時代ですから、隔世の感があります。佐倉から一般参加の井上さんが北総の植生とは随分違うと感想を漏らしていました。個々の植物を見るだけでなく、森全体を見てくれているなと思うと案内の甲斐があります。

小中学校時代の同級生が地元で弁当の仕出しをしているので、応援の為にハイキング参加の皆様へお昼用に勧めた所、全員から注文を頂きました。弁当の内容は郷土料理の太巻寿司と煮物主体のものでした。予め季節の山菜であるフキは必ず入れて欲しいとお願いしていたところ、別パックのサービス品として付いていました。

帰宅後にサービス品のお礼を言うと、「家の周囲に自然に生えているものだから元手要らずだし、皆が喜んでくれればそれで良いんだよ」と笑っていました。(坂本)



○豊英島の案内

県民の森の管理事務所の軒先をお借りしてお弁当を食べたあと、午後の豊英島の散策に向かいました。駐車場に車を止め、ヤマビル対策をして島への吊り橋を渡ります。橋の手前のゲートの鍵を開けて豊英湖にかかる高さが10mくらいの吊り橋を渡って島へ、そこは房総丘陵の豊かな自然に恵まれた千年の森づくりを考える壮大な実験場です。島では、生物多様性の保全を目的に行っている植生保護柵、センサーカメラによる動物調査の様子、ナラ枯れにより立ち枯れたコナラや、枯死木の伐採後に森林が変化している状況などを見ていただきました。

以前はニホンジカによる食害が激しく、植生保護柵を設置してマダケやホテイチク、シュンランやヤマユリなどの林床の植物を保全していましたが、最近ではニホンジカに代わってキョンが頻繁に確認されるようになり、植生に与える影響が変化してきました。これまでになかった変化として、今回は、植生保護柵の外でもホテイチクのタケノコが食害を受けずに多数発生しているのが確認されました。

また、豊英島の生物多様性の豊かさを示す例として、ユウシュンラン（千葉県、最重要保護生物）、赤い実をつけたコショウノキ（千葉県、重要保護生物）などを見ていただきました。（福島）

○はじめて清和県民の森ハイキングに参加させていただきました（井上隆夫）

いつも北総地域の里山を歩いている私にとって、今回のコースは大変興味深いものでした。エゴノキの白い花が雪のように散った駐車場をスタートし、満開になったガマズミの花を見ながら歩きはじめました。たくさんのミツバツツジはすでに花が終わっていましたが、ヤマツツジはオレンジ色の混じった赤い花をたくさん見せてくれました。

今回のテーマは「ウツギ」ということで、講師の坂本さんから9種類の「〇〇ウツギ」と名の着く樹木を紹介していただきました。最初に会えたのはアジサイ科のマルバウツギです。ウツギより葉が丸みを帯びているのが特徴でした。指で葉を触るとザラザラした感触です。リュウキュウマメガキの柔らかな緑の葉を見た後には、スイカズラ科のニシキウツギが咲いていました。淡い白の花とうす紅色の花があり、正に二色（ニシキ）でした。

淵ヶ沢トンネルを抜けるとイズノシマダイモンジソウが湿った崖にありました。茎や葉にたくさんの毛が生えています。花の時期にぜひ見てみたいものです。次に出会えたのはバラ科のコゴメウツギでした。たくさんの細い枝が出ており、枝の先端には黄白色の花がたくさん咲いていました。

林道を歩いていく途中、側溝にウグイスの巣立ち雛が落ちていました。幼鳥には人が触れてはいけないので、坂本さんが溝の中に枯れ枝を入れて、自分で登れるようにしてその場を去りました。しばらく進むと黄色い花が木の上に見えました。ジャケツイバラです。マメ科のつる性の落葉低木の植物とのことでした。蛇結莢と怖い名前ですが、鮮やかな黄色が印象的です。

橋を渡ると川沿いの森の中にヤマボウシの白い花（苞）が目立ちます。秋にはたくさんの甘い実を着けることでしょう。林道のアカマツには雄花、雌花、若い球果、そして2年目の松ぼっくりが見られました。キャンプ場の先にはケイワタバコ、スイカズラ科のツクバネウツギ、日本三大有毒植物のドクウツギなどを見ることができました。



マルバウツギ

ニシキウツギ

ジャケツイバラ

ヤマボウシ

ツクバネウツギ



ドクウツギ

オオバウマノスズクサ

アオダイショウ

コケリンドウ

モウセンゴケ

ユウシュンラン

コショウノキ

特にオオバウマノスズクサは印象的でした。この植物は初めてでした。草本のウマノスズクサは私の住んでいる佐倉でも見かけますが、オオバウマノスズクサはつる性の落葉木本だそうです。ちょうど花が咲いていましたが、やはり大きいですね。

さらに進んだところの斜面には、ショウジョウバカマをたくさん見ることができました。花が咲く頃にまた訪れたいと思いました。ショウジョウバカマのそばには、センブリもありました。苦いことで有名なセンブリですが、この花もぜひ見たいですね。ヒガンナムシグサを見ていると、近くの木にアオダイショウが現れました。150cm程度の長さがあり、なかなか堂々としていました。

林を抜けると、キリの花やコケリンドウがきれいに咲いていました。さらに地域の方が大事にしておられるモウセンゴケも見事でした。斜面に生えているモウセンゴケは他ではなかなか見られないでしょう。

管理事務所に戻り、おいしい太巻き寿司のお弁当をいただいた後は、豊英島に向かいました。ダムを通り過ぎ、「ちば千年の森をつくる会」の皆さんが活動されている豊英島への橋を渡りました。貴重な生物をシカやイノシシから守り、ナラ枯れの被害を受けたコナラや風倒木を処理されている島には、ユウシュンランやコショウノキ等が大切に保護されていました。北総地域では見られない生き物たちを紹介していただき、本当にありがとうございました。（文中の写真は井上さん撮影）

〇昨年に続き参加させていただきました（近藤裕之）

今年はいにくの天候なためか参加者が少なく残念でしたが、かえって講師の話をつよく聞くことができ、私としては自然観察を十分に楽しむことができました。スタート時に講師の坂本さんから「ウツギ（空木）」の写真資料をいただき、今回は数多く自生するウツギの観察を主に歩行することになりました。私的には、「毒ウツギ」が印象に残っています。



ウグイス？

ハイキング開始早々、道路側溝に巣から落ちたと思われる「ウグイス？」の雛を発見しましたが、自然環境保護のために手出しは出来ないとのこと、勉強になりました。花のない状態での植物の同定等、講師の話に感心しながら午前のハイキングは無事終了しました。記憶に残るのは、コース終了地点付近の法面に自生する「モウセンゴケ」でした。



太巻き寿司のお弁当

昼食は太巻きずしの弁当（キャラブキの煮物付）も食べることができ、大満足でした。

午後からは、皆さんの活動フィールドの豊英島に移動し、会長さんの案内で島内をめぐりました。定点カメラのデータから、最近では鹿ではなく「キョン」が確認されるとのこと、食害による植生への影響も変化しているとのことでした。また、島内ではナラ枯れの被害が進んでいて、その対策にご苦労されているようでした。まとまらない感想となりましたが、貴重な体験をありがとうございました。（文中の写真は近藤さん撮影）

〇県民の森から豊英島へ

ハイキングコースはいつものように林道刈カ沢線です。普段歩いてトンネルを通ることは滅多にありません。ここには刈カ沢隧道と松節隧道があります。この二つのトンネルに挟まれた区間が今回の県民の森ハイキングコースの核心部です。トンネルを超えると一気にハイキング気分が高まります。集合場所となっている清和県民の森管理事務所下の駐車場では昨日からの悪天候で風が強く吹いて、エゴノキの花びらがアスファルト面いっぱいに散っていました。ここで観察できるのは、エゴノキ、マルバウツギ、ヤマツツジ、リュウキュウマメガキ等です。トンネルを通過してからはフサザクラ、ミズキ、ウツギ、マルバウツギ、ニシキウツギ、コゴメウツギがあちらこちらで見られます。今回ガイドの坂本さんはウツギの仲間を中心に解説して下さいました。

刈カ沢隧道からそう離れていない路肩の側溝の中にウグイスの雛がいました。幼鳥の嘴の口角には黄色味が見て取れます。まだ飛べません。親鳥でしょうか頻りに囀っていました。ウグイスの子育てはメスの役割だと聞いています。近くにメスもいて、側溝に落ちた雛を見守っているのかもしれない。自宅の庭で二度同じようなこ

とがありました。ユズの木でヒヨドリが子育てをされていて、十分に飛べないまま巣立ち、腰より低い込み合った場所に姿をかくし小さな声で鳴いたりしていました。ここの庭にはよく猫が入り込んできますが、運よく猫の目を晦ましたようです。何日かして頭の高さほどの梅の木の枝で親鳥から餌をもらっている姿が確認できました。このウグイスも他の生き物の餌食にならず無事に育ってくれればと思います。

林道は初夏の空気に包まれ、曇ってはいましたが野鳥の鳴き声、カエルの鳴き声と山の自然を満喫できました。記念写真を撮った橋からは周囲の山々が一望でき、トビが谷筋を飛ぶ様子も見られました。開けた谷の空間にはスタジイの新緑がより一層輝いていました。橋から数十メートル下の谷底の水面付近の岸辺にあるシランは、野生と坂本さんは解説していました。昨年と同様私は肉眼ではわからず、望遠鏡のお世話になりました。

ヤマツツジ、ジャケツイバラ、コケリンドウ、ノアザミ、ニワゼキショウ、コメツブツメクサ、アズマイバラ、ヤブヘビイチゴ、ツクバネウツギ、ドクウツギ、オオバウマノスズクサ等がいつもの場所で咲いていました。

このハイキングコースの終盤にハイライトともいうべきものがあります。モウセンゴケです。モウセンゴケのある崖は泥岩でしょうか土壌のほとんどない崖になっていて、絞り水が滴っています。辛うじて岩に張り付いているように見えます。ここにシランも崖に張り付くように咲いていました。谷川の岸辺にあったシラン同様に野生でしょうか。樹皮の変わり種として、うろこ状に剥がれるリョウブは林道の中ほどで、ねじれて縦に裂ける樹皮をしたネジキとアセビはよく似ていますが豊英島で見られました。

島ではセンサーカメラのシカの記録が減っています。植物の食害も少ないです。シカが上陸しなくなったということのようです。ナラ枯れで出来たギャップには多様な植物が生えて移動の妨げとなっています。ホテイ岬ではシカの好物のタケノコが例年より多く確認できました。先月白い花を咲かせていたユウシュンランは緑の実となっていました。(秋元)



マルバウツギ



ジャケツイバラ



ホオノキ



アズマイバラ



リョウブの樹皮



ヤマツツジ



フサザクラ



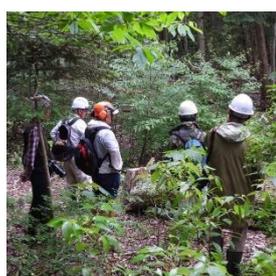
アオダイショウ



松節隧道



新緑の溪谷



豊英島の散策



ネジキの樹皮



アセビの樹皮



オオバトソソク



ユウシュンラン

〇トビの雛が誕生

先月の活動日にトビの巣に卵が一つ確認されました。今回、発見者の清水さんに様子を見に行ってもらったところ、雛が生まれていることがわかりました。島での孵化の確認は何年ぶりでしょうか。無事に巣立つように見守りたいと思います。

(福島、写真は清水さん撮影)



〇センサーカメラの動物たち

4月20日から5月18日までの29日間の記録

CAM1は、カメラを固定するテープが切れてしまい、回収してメンテナンスを行ったためデータはなし。

CAM2は、キョン(6日、最大頭数3頭)、テン(1日、同1頭)、ハクビシン(1日、同1頭)の記録あり。

CAM3は、キョン(7日、最大頭数2頭)、テン(1日、同1頭)の記録あり。

ニホンジカ、イノシシの記録はありませんでした。

- ・ 設置期間：4月20日から5月18日(29日間)
- ・ 設置場所：CAM2(ホテイ岬への分岐点付近)、CAM3(ホテイ岬中央付近)
- ・ 日数は記録された日数で、同じ日に複数回記録されても1日としています。

CAM2 キョン6日、テン1日、ハクビシン1日

CAM3 キョン7日、テン1日



キョン♂



テン (CAM2 動画から切り取り)



テン (CAM3)

(福島)

お知らせ

〇次回の定例活動は6月15日(日)です

ニホンジカ生息状況調査、環境整備(水辺)、危険木伐採等を行う予定です。人数が必要ですので会員の皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

熱中症対策、ヤマビル、ダニ対策、安全のためヘルメットの着用をお願いします。